
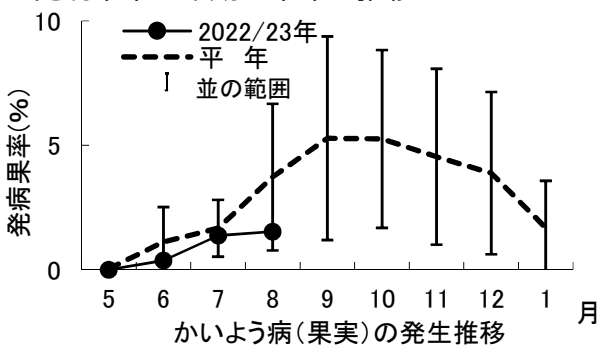


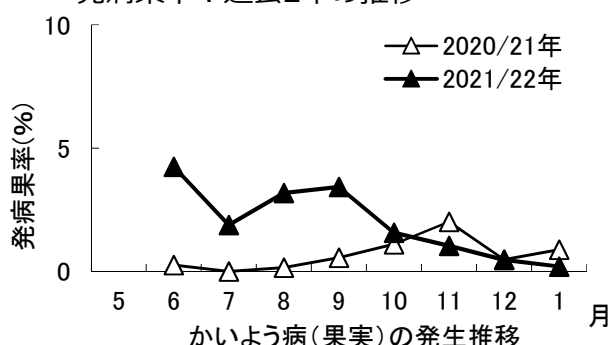
作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島	
病害虫名	① かいよう病			
調査結果	8 月の発生量 (平年比)			並
予報	8 月からの増減傾向			↗
	9 月の発生量 (平年比)	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)		

調査結果

発病果率：今期と平年の推移

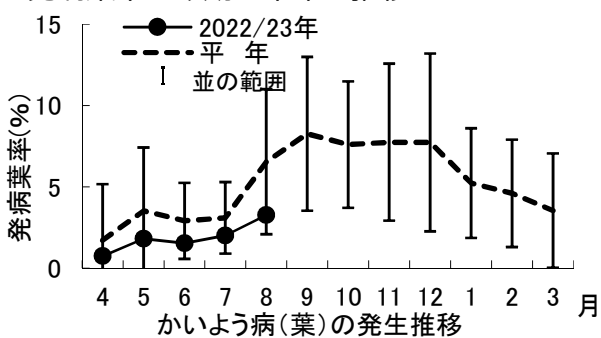


発病果率：過去2年の推移

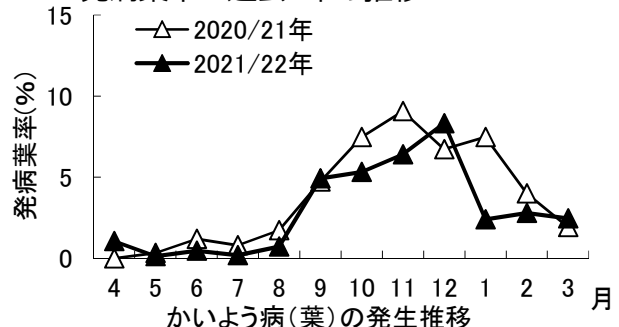


・果実の発病度0.3 (平年0.7)、発生ほ場率40.0% (平年70.5%)

発病葉率：今期と平年の推移



発病葉率：過去2年の推移




・葉の発病度0.7 (平年2.1)、発生ほ場率20.0% (平年86.4%)

防除のポイント

- ・罹病枝などの病斑が伝染源となり、台風による葉や枝の傷口 (風傷) は感染を助長することから、台風前後ともに薬剤防除を行う。
- ・本病はミカンハモグリガによる食害痕から発生しやすく、翌年の伝染源になるので、ミカンハモグリガ被害葉の除去に努める。

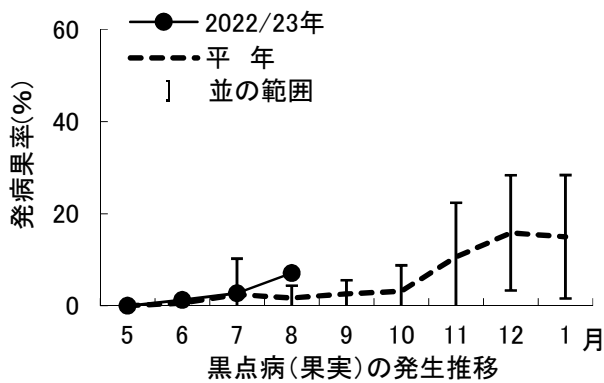


被害葉→

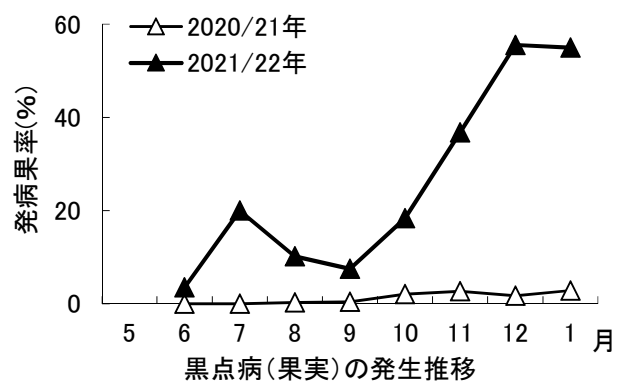
作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	② 黒点病		
調査結果	8 月の発生量（平年比）	やや多	
予報	8 月からの増減傾向	→	
	9 月の発生量（平年比）	やや多	
予報の根拠		平年の発生量の推移（→）	

調査結果

今期と平年の推移




過去2年の推移



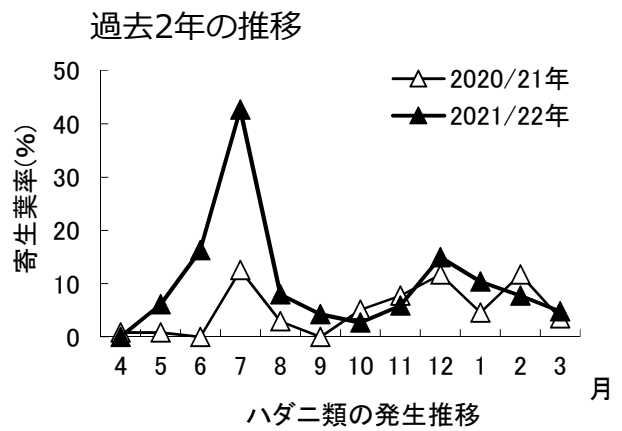
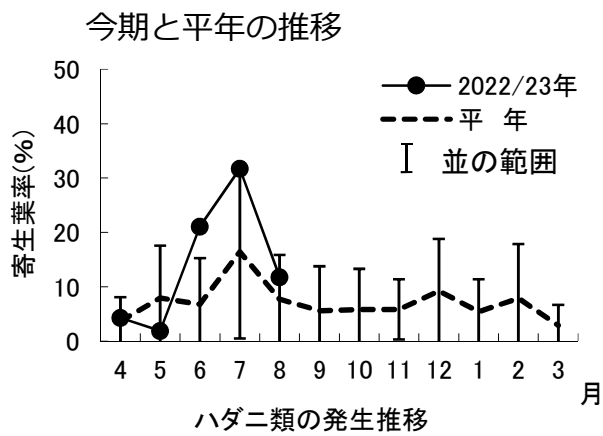
- ・ 果実の発病度 1.8（平年 0.5）
- ・ 発生ほ場率 80.0%（平年 40.9%）

防除のポイント

- ・ 周辺の防風樹も含め、枯れ枝は除去する。
- ・ ほ場内の通風、採光を良くするために、間伐、せん定等の管理を徹底する。

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	③ ハダニ類		 <p>ミカンハダニ</p>
調査結果	8 月の発生量 (平年比)	並	
予報	8 月からの増減傾向	↓	
	9 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↓)	

調査結果



・発生ほ場率60.0% (平年54.5%)

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状